

## 日本一の蓄電システム

大阪大理学研究所の先端強磁場科学研究センター(萩原政幸センター長)が発足し、記念式典が20日開かれた。国内最高性能の蓄電システムを備え、超伝導を起こす新材料の開発などに取り組む。蓄電システムは、箱形コンデンサーを240個つないでおり、蓄えた大量の電気をコイルに一気に流して強い磁場を発生させられる。磁場の発生時間が国内の他の施設より長いため、超高压や極低温といった極限状態における物質の性質などが研究できるという。

式典には約150人が参加し、篠原厚・理学研究科長は「世界的な研究施設に発展させた」とあいさつした。

## 日本経済新聞

### 強磁場研究で連携 阪大、神戸大、福井大

2014/6/9 23:33 | 日本経済新聞 電子版

大阪大学先端強磁場科学研究センターが神戸大学分子フォトサイエンス研究センター、福井大学遠赤外領域開発研究センターと連携協定を結んだ。施設や装置の相互利用などを通じ、超電導、ナノ(ナノは10億分の1)メートルサイズの微小磁性体、たんぱく質などの研究を進める。人材の育成・交流も手掛ける。

阪大は国内最大級の蓄電設備を使い、最大50テスラを超える強い磁場を瞬間的に発生する実験施設を持つ。神戸大が保有する高圧力実験装置と高感度計測装置、福井大の高出力遠赤外光発生装置と組み合わせると、強磁場・高圧という極限環境での物質と光の相互作用を調べることができる。

日本学術会議が掲げる大規模研究プロジェクト「強磁場コラボラトリー計画」の一環。阪大のセンターは物質・材料研究機構、東北大学、東京大学とともに、国内に4つある主要拠点になっている。

**NIKKEI** Copyright © 2014 Nikkei Inc. All rights reserved.



## 国内最大の充電システム 阪大公開、強磁場使い研究

大阪大の先端強磁場科学研究センターで公開された、瞬間的に強い磁場を発生させる大型コンデンサーバンクシステム＝20日午後、大阪府豊中市

2014/05/20 17:48 【共同通信】